

8/2
(金)

I 総論編

「こころのケガを癒すトラウマ・インフォームド・ケアとは」

II 各論編

「子どもへの性犯罪・性暴力被害を防ぐために私たちにできること」

大阪大学大学院 人間科学研究科 教授/臨床心理士

野坂 祐子さん



I 総論編では、「トラウマインフォームドケア (TIC)」とはトラウマについての情報を得て理解し、見えにくいトラウマを見える化する援助の視点であることを説明されました。過去の出来事を整理するのではなく、今起きているその行動の背景にあるトラウマの影響を支援者と本人が理解し、再トラウマの予防が重要であることを学びました。

II 各論編では、性犯罪・性暴力被害による声にならない言葉を聴くために、性被害についての正しい知識やトラウマを理解するとともに、性的トラウマによる性的な行動化や回避症状を正そうとするのではなくトラウマメガネで視ることで、当事者に何が起きているかを一緒に考えていくことが必要であることを学びました。トラウマから回復するためには、適切な対処方法による自己コントロール感を得ることが重要であることも説明されました。

受講生の感想

- ・ TICについて、性暴力について、それぞれ限られた時間でしたが、とても分かりやすく、とても有意義な時間でした。実践で今回学んだ知識を活かしていきたいですし、実際に学んだことをやってみたくて、また先生のお話を聞きたいとも思いました。
- ・ TIC、子供への性暴力について理解が深まった。トラウマの影響を支援者と本人と一緒に理解できるよう、トラウマのメガネをかけながら対応したい。「話したくない」と言われて、拒否されたと思っていたが、それこそがトラウマ症状であると理解でき、大人が諦めずにかかわっていきたい。
- ・ 総論で基本的なことが学べて、日常的に考えながらしてきたことに通じていることがわかり、TICをより身近に感じてよかった。各論では性犯罪・性暴力被害を防ぐための知識・視点について、支援者としての考え方、関わり方を知ることができて参考になった。
- ・ レジューメも先生のお話もとても分かりやすく日々の執務にも生かせる内容でした。教員・子供とかかわる職種、警察官、裁判官の必須科目になればよいのに…と率直に思いました。日本は被害者に厳しいです。